

5日 金曜

ヨシュア

13:15 モーセは、ルベン部族の諸氏族に相続地を与えた。

13:16 彼らの地域は、アルノンの溪谷の縁にあるアロエルから、その溪谷にある町、またメデバの全台地、

13:17 ヘシュボンと、台地にあるすべての町、ディボン、バモテ・バアル、ベテ・バアル・メオン、

13:18 ヤハツ、ケデモテ、メファアテ、

13:19 キルヤタイム、シブマ、谷間の丘にあるツェレテ・ハ・シャハル、

13:20 ベテ・ペオル、ピスガの傾斜地、ベテ・ハ・エシモテ、

13:21 台地のすべての町、ヘシュボンで王であったアモリ人の王シホンの全王国。モーセはシホンと、その地に住む、シホンの首長であったミディアンの子たち、すなわち、エウィ、レケム、ツル、フル、レバを討った。

13:22 これらの刺し殺された者に加えて、ベオルの子、占い師バラムをイスラエルの子らは剣で殺した。

13:23 ルベン族の地域は、ヨルダン川とその地域である。これがルベン族の諸氏族の相続地で、その町々とそれらの村々である。

13:24 モーセは、ガド部族、すなわちガド族の諸氏族に相続地を与えた。

13:25 彼らの地域はヤゼル、ギルアデのすべての町、アンモン人の地の半分で、ラバに面するアロエルまで、

13:26 ヘシュボンからラマテ・ハ・ミツパとベトニムまで、マハナウムからデビルの国境まで。

13:27 谷間ではベテ・ハ・ラム、ベテ・ニム



ラ、スコテ、ツアフォン。ヘシュボンの王シホンの王国の残りの地、すなわち、ヨルダン川とその地域では、ヨルダンの川向こう、東の方、キネレテ湖の端まで。

13:28 これがガド族の諸氏族の相続地で、その町々と村々である。

13:29 モーセは、マナセの半部族に相続地を与えた。それはマナセの半部族の諸氏族に属する。

13:30 彼らの地域はマハナウムからバシヤン全域、バシヤンの王オグの全王国、バシヤンのハボテ・ヤイル全域にある六十の町、

13:31 ギルアデの半分、バシヤンのオグの王国の町アシュタロテとエデレイ。これらは、マナセの子マキルの子孫、すなわち、マキル族の半分の諸氏族に属する。

13:32 これらは、ヨルダンの川向こう、エリコの東側にあるモアブの草原で、モーセが割り当てた相続地である。

13:33 レビ部族にはモーセは相続地を与えなかった。主が彼らに約束されたとおりに、イスラエルの神、【主】が彼らへのゆずりである。

ルベン部族、ガド部族、マナセ部族の半分に与えられた地域について書かれています。彼らは家畜が多く、牧畜に適した地を求め、認められました。それでヨルダン川の東側すなわち渡る前の側に住むこととなったのです。

ただしヨルダン川の向こうでの戦いには参戦することを求められ、彼らはその責務を果たしたのです。彼ら自身の土地は戦わずとも手にあったものですが、共同体の一員として神様からの使命を果たしました。これはまさに今の教会の働きにも言えることで、自分には直接関係ないからといって、傍観するのではなく、共に犠牲を払って働く

のが主のみこころであるということが分ります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？

